

天国と地獄

今、僕はほのぼのとしてゐる。なぜなら、おにぎりを食べ、お茶を飲み、雲が流れる青空を眺めてゐる。こんな日は風寝に限る。

しかし、窓を一枚へだてたむこうは殺伐としてゐる。なぜなら今、ここは台風18号の暴風域だからである。流れる雲は黒いし、ものすごい勢いで流れていく。川は水深が8mほどになり、下流から上流に向かって流れてゐる。また、今聞いてゐるラジオやテレビも台風の情報ばかりである。

おにぎりも手にとつて外を眺めてゐると、何かがものすごい速さで横切った。鳥である。羽が飛んでゐるといふよりは吹っ飛ばされてゐる感じである。また、朝潮小橋の上を歩いてゐる人は風にあおられていて、今にも橋から転げ落ちそうだった。おと僕はずぶやいた。朝潮小橋につくずかれてもおおかしくないな。これは聞いていた母も同感した。

おっと、一つ説明を忘れていた。なぜ今日は平日なのに僕や母が家にゐるのかだ。それは

は、母は台風18号の影響で会社が午後になた。
たからだ。本日の所、弟も台風によって授業
から時間目からになったのだ。だが僕が家に
いるのは台風のせいではない。実は僕のワラ
スが新型インフルエーザで学級閉鎖になった
からだ。とはいえ、昨日も普通に外で友達と
遊んで来た。バシていなければいいが。
話を元にもどそう。今度はお茶を飲みなが
ら外を観察してみると、向かいのマンシマン
で洗たく物を干している。あれは、いま忘れ
たのか。それとも良くなかなのだらう
か。どっちもち勇者である。近くのマンシッ
この窓ガラスを見てみると、おずくゆれて
みえる。あれは水たまりが反射しているから
だらうか。本当に風でゆれているからなのか。
よく見ると色々と面白発見がある。
でもあくまで僕は1日中家の中にいるのだ。
これから外で何が起ころんだらう。ま、外で
中があらうとおかまになした。まさに「高み
の見物」という感じだ。おちりり